

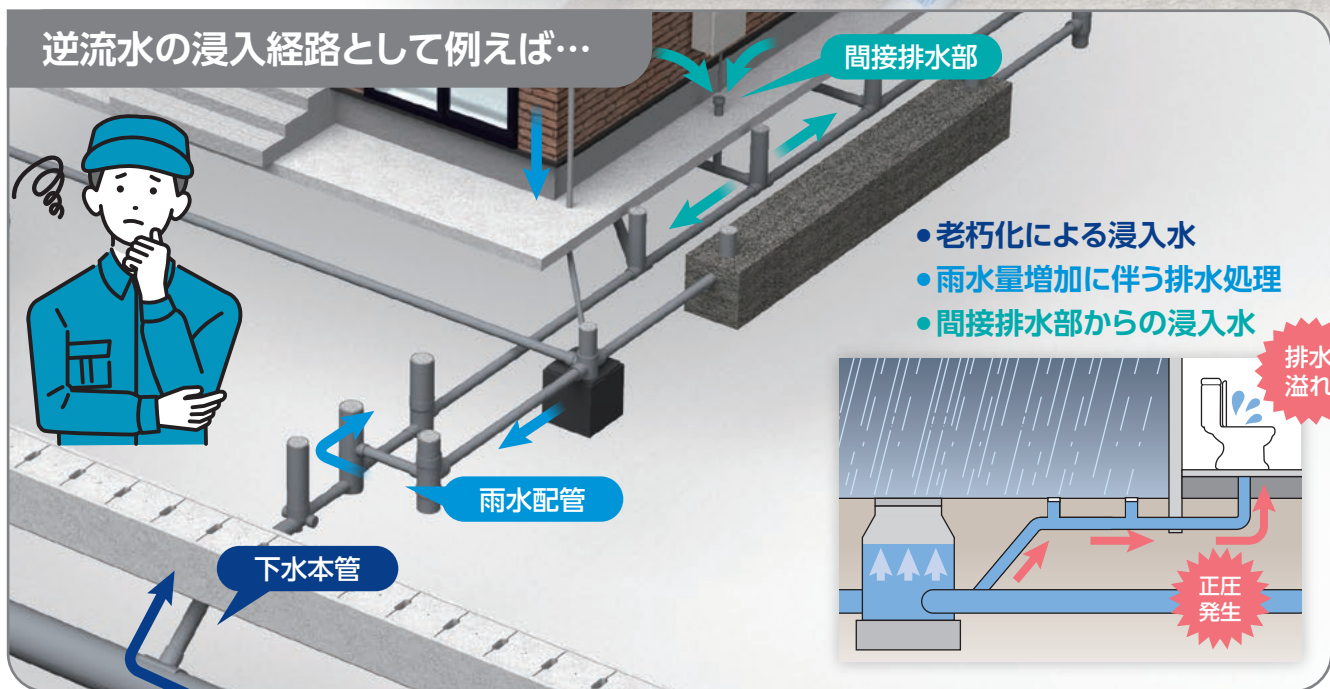
逆流抑止継手

GY-DT 75

逆流から宅内を守る 最後の砦!!



建物に配管内逆流対策を付加します

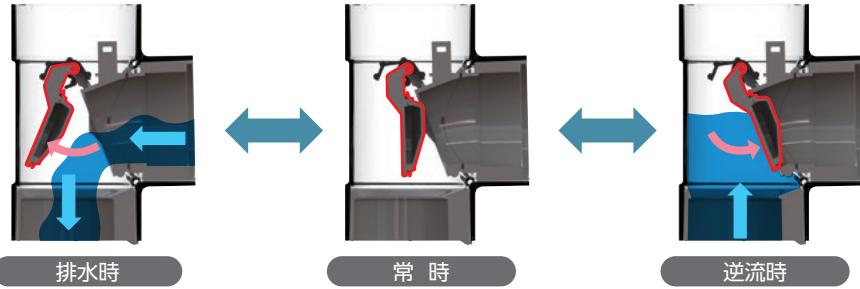


※本製品本体はグレー色です。

製品特長

常時弁体開口構造により、スムーズな排水を実現。配管内逆流時においては、継手下流の水位上昇により弁体が閉口。衛生器具からの逆流水溢れを防止し、宅内を守ります。

〈弁体挙動イメージ〉



製品仕様

Technical drawing of the valve with dimensions and labels. The drawing shows the valve in a cross-section view, highlighting the valve body, the valve seat, and the valve stem. The dimensions are as follows: 112 (total height), 66 (height to the valve seat), 40 (height to the valve stem), 6 (height to the valve body), 50 (height to the valve seat), 31 (height to the valve stem), 225 (total height), 63 (height to the valve seat), 72 (height to the valve stem), 40 (height to the valve body), 8.5 (width of the valve seat), 130 (height to the valve stem), 85 (width of the valve stem), 92.4 (height to the valve seat), and 117° (angle of the valve stem). The labels include: 抑止部品 (Restriction part), ゴムリング (合成ゴム) (Rubber ring (synthetic rubber)), 本体 (硬質塩ビ) (Body (rigid PVC)), 弁体・弁体カバー (硬質塩ビ) (Valve body and valve body cover (rigid PVC)), シーリング (合成ゴム) (Sealing (synthetic rubber)), 可動範囲 (44°) (Movable range (44°)), 流入部品 (硬質塩ビ) (Inlet part (rigid PVC)), 弁体固定部 (硬質塩ビ) (Valve body fixed part (rigid PVC)), and ヒンジカバー (ポリプロピレン) (Hinge cover (polypropylene)).

略号・サイズ	コード	価格	梱包
GY-DT 75	5 235175-	7,000	4

※1 点検口用のふたにはICO-H100をご使用ください。
 ※2 他管路径にご使用の際は、径変換ソケットを接続してください。

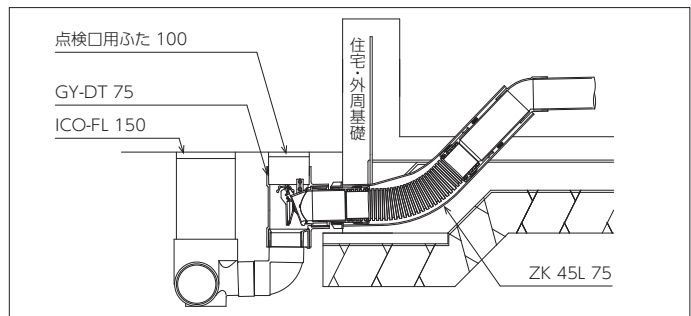
関連製品

■オーバーフローふた



略号・サイズ	コード	梱包
ICO-FL ライト 150 (おすい)	5 295230-	16
ICO-FL グレー 150 (おすい)	5 295220-	16
ICO-FL ライト 200 (おすい)	5 295231-	8
ICO-FL ライト 200K (おすい)	5 295236-	8
ICO-FL ライト 300 (おすい)	5 295310-	1
ICO-FL ライト 300K (おすい)	5 295311-	1

設置例



注意事項

◆設計上のご注意

- 本製品は配管内の逆流低減を目的とした製品です。逆流抑止弁は完全な止水性を有するものではありません。
- 複数器具を合流させた配管に本製品を用いる場合は、以下を目安としてください。
 流量過多の場合、製品破損の原因となる恐れがあります。
 ① 雑排水器具のみの場合…3 台まで
 ② トイレを含む場合…2 台まで (ただし、内 1 台は雑排水システムの器具)。
- 逆流時のふたの飛散防止のため、排水マスには圧力開放機能を有するふたを選定ください。また、過度な逆流が生じた場合、継手点検口用ふたを含めて、ふた外れの可能性がありますので、設置位置についてご考慮ください。
- 適切な勾配および配管長にて配管設計してください。勾配が緩い、排水量が少ない、配管長が長いなどの場合、管路内に排泄物が停滞しやすく、排泄物が塊となって製品内へ流れ込むことで、継手内での詰まりの原因となります。

◆輸送・保管上のご注意

- 高所からの落下、投げ投げなどによる過度の衝撃を加えないでください。
- 屋内で保管してください。やむを得ず屋外に保管する場合は、直射日光を避け、熱気のごもらない方法によって保管を行ってください。

◆施工上のご注意

- 継手の点検口はφ100 受口となります。継手の上下方向をご確認ください。
 - 継手は水平に設置してください。斜めに設置すると弁体挙動に影響を及ぼす恐れがあります。
 - 維持管理を考慮して継手の設置深さは 65~500mm の範囲としてください。
 - 接着剤は、必ず清掃した管と受口の両面に薄く均一に塗布し、塗布後は速やかに接合してください。
 - 接合は所定の時間挿入力を保持し、接合後は、はみ出した接着剤をふき取ってください。
 - 設置後、弁体が開閉することをご確認ください。
 - アセトン、シンナー、クレンジング剤、殺虫剤、シロアリ駆除剤など継手の材質に悪影響を及ぼす物質を吹き付けたり、塗布しないでください。
- ### ◆使用上のご注意
- 排水管内の流れを維持するために、弁体は定期的に清掃してください (金属ブラシ使用不可)。
 - 排水管路を清掃の際は、逆流抑止弁を取り外して、清掃をお願いします。
 - 逆流抑止弁の取付け後は、規定位置まで装着されていることをご確認ください。
 - 挿抜がきつくなった場合は、市販のシリコングリスをゴムリング表面に塗布してください。
 - 逆流時 (= 弁体閉口時) は、排水が流れない状況となります。無理に排水せず、時間を置いてから排水してください。



アロン化成株式会社

管材事業部

https://www.aronkasei.co.jp/kanzai/
 kanzai@aronkasei.co.jp

東京支店 TEL(03)3502-1488 FAX(045)750-1602
 大阪支店 TEL(06)6448-5125 FAX(045)750-1604
 名古屋支店 TEL(052)203-0378 FAX(045)750-1603
 福岡支店 TEL(092)741-1412 FAX(045)750-1605

仙台支店 TEL(022)291-5477 FAX(045)750-1601
 札幌営業所 TEL(011)709-6011 FAX(045)750-1601
 広島オフィス TEL(082)245-7100 FAX(045)750-1605
 北陸オフィス TEL(0766)44-1565 FAX(045)750-1603

お問い合わせは

管理コード
 235175
 製品コード

コード番号が8ケタになっています。
 2010年1月より、今までのコード番号に管理コードが追加され、コード番号が8ケタになっています。

[No.000000] 24.00.02.XX-0